

第9回 定例教育委員会議事録		日 時 : 令和2年9月25日(火)	
		場 所 : 菱刈庁舎3階中会議室	
開会、閉会に関する事項		10時00分 開会 10時51分 閉会	
	教育長 森 和 範 教育委員 永 野 治 教育委員 久保田 悦 子 教育委員 長 野 吉 泰	議場に出席した者の氏名	総務課長 万 膳 正 見 学校教育課長 松 元 浩 幸 社会教育課長 轟 木 成 実 スポーツ推進課長 平 崎 祐 実 学校給食センター所長 丸 目 良 平 書記 浅 山 典 久 書記 中 原 百 恵
議事日程	別紙のとおり		
審 議 状 況			
(森教育長) ただいまから令和2年第9回定例教育委員会を開会します。 (浅山係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。 (森教育長) 「令和2年第8回定例教育委員会議事録の承認」を議題とします。事務局より報告をお願いします。 (浅山係長) 令和2年第8回定例教育委員会議事録について報告(別紙「概要報告書」により報告) (森教育長) ただいま事務局より前回の議事録の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。 (全員) ありません。 (森教育長) 報告のとおり、承認してよろしいでしょうか。 (全員) はい。 (森教育長) 令和2年第8回定例教育委員会議事録については、承認いたしました。 続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。 教育長報告については、お手元の8月25日から9月24日までの教育長諸般の報告をもとに説明します。 (別紙「諸般の報告」により日を追って報告) (森教育長) 続きまして、委員の皆様方からのご報告をお願いしたいと思います。まず、永野委員お願いいたします。 (永野委員)			

はい。特にありません。

(教育長)

はい。では、長野則夫委員お願いいたします。

(長野則夫委員)

はい。私も特にありませんが、この間から秋の交通安全週間が始まって、今日、Yショップうのきのバイパスところで立哨を行いました。小学生が4人、中学生が1人、あと、車で送っていく親の方が何組かおられたのにきづき、ものすごく寂しく感じました。それと、ちょうどさつま観光でしたか、伊佐交通でしたか、大口方面に出水養護学校のスクールバスがちょうど走っていったものですから、湧水町の方からなのか結構人数も多くて、あれを見たときに、今から菱刈、大口の子どもたちを乗せて、出水まで行くと考えたときに、特別支援学校を伊佐市に新設ということで動いておりますけれども、それを見たときに早く特別支援学校を伊佐市に設置してあげないといけないという思いをいさながら立哨をしたところでした。

以上です。

(教育長)

はい。ありがとうございます。

久保田委員お願いいたします。

(久保田委員)

はい。ありません。

(教育長)

はい。長野吉泰委員お願いいたします。

(長野吉泰委員)

はい。9月13日に保護者として、大口中央中学校の体育大会に行ってきました。そのなかで、今年はいつもの年と全然雰囲気が違う体育大会でした。ちょっと気になったのが、これは予行練習のときからだそうですが、特に応援団の生徒で体調を悪くする生徒が多いということを知りました。それで、当日も応援団で水を飲む暇もない生徒もいたと聞いたので、もう少し休憩を入れるとか、あの日はすごく暑い日でしたので、日程を変えるとか、そういうふうにしていかないといけないのではないかなということを感じました。生徒によっては、選手に色々出る子が係をして、休む暇もないと。ある生徒は、徒競走しかなくて、ずっと応援席にいたりとか、そういうのあるみたいなので、もう少し考えた役割の配置とかしてもらえればいいのかと感じたところでした。

以上です。

(教育長)

はい。また、学校教育課長の方で、学校の方に伝えてください。ありがとうございました。

先ほど、長野則夫委員の方からもありましたように、伊佐市に特別支援学校を設置するという運動がありまして、今、2万人を目標に署名活動をしております。教育委員会をはじめ、市役所内においても、署名活動をしております。来月には、県知事のところに陳情に行く予定でありますが、早く早く進めていかなければいけないということを感じているところでございます。

ありがとうございました。

教育長及び教育委員の報告については、以上でよろしいでしょうか。

はい。

それでは、議事に進みたいと思いますが、今回は、報告事項はありません。

付議事件が1件ございます。

これより付議事件に入ります。

議案第23号「令和2年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者の決定について」、事務局より説明をお願いいたします。

(万膳課長)

はい。定例会資料3ページをご覧ください。

議案第23号「令和2年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者の決定について」を説明いたします。

本件につきましては、令和2年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者につきまして、伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第13号の規定に基づき、議決を求めるものでございます。

まずは、6ページをお開きください。

「伊佐市社会教育関係功労者表彰要綱」になります。

第2条、被表彰者の規定によりまして、社会教育関係功労者としまして、本市の社会教育・社会体育・芸術文化部門で、概ね10年以上にわたって活動し、その功績が顕著なものや、児童生徒として地域社会における活動が特に顕著であり、他の模範とするにたる者、その他表彰に値する功績又は行為があったものに対して表彰を行うものでございます。

去る8月17日に、第6条に規定されております教育長を会長とする「表彰選考会」にて、審査を行いました。

被表彰者の予定者でございますけれども、資料の4ページから5ページに掲載してありますとおり、関係団体の推薦をいただいた5名の方について、「表彰選考会」にて審議を行い、被表彰者としてふさわしい方々であるということで選考いたしましたので、本日の委員会におきまして、決定をいただきたいと思っております。

なお、表彰につきましては、今後の行事予定で後ほど出てまいりますけれども、10月17日開催予定の青少年健全育成大会の表彰式のみで開催でございますけれども、そのなかで、表彰を行う予定でございます。

それでは、5名の方々をご紹介します。

4ページでございます。

読み上げて、ご紹介いたします。

1番 長山 ミエ子さん80歳、伊佐市忠元生活学校からの推薦でございます。

平成9年から忠元生活学校会長として23年間活動され、観光地の清掃活動やレジ袋削減のためのマイバッグ持参運動、食品ロス削減運動、河川浄化運動への取り組みなど、身近な暮らしや地域問題に取り組んでこられた。

その中で、県生活学校の会長・副会長として鹿児島県の生活学校運動の中心になって運動推進に尽力されてきた。

さらに、地域女性団体運動にも力を発揮され、平成13年度から伊佐市地域女性団体連絡協議会会長として、ふるさとを興す学習大会等などの女性主体の研修会、県下一周駅伝競走大会の中継所接待業務や地域医療セミナーの実施などの事業を積極的に推進し、伊佐市の女性団体の取りまとめや発展に尽くされてきた。

2番目でございます。

前原 博文さん70歳、羽月西校区コミュニティ協議会からの推薦でございます。

平成25年から羽月西校区の校区公民館指導員と連携し、校区活動を始められた。その後、地域における多くの社会教育活動を継続されてきた。中でも、平成25年度には校区一体となって東日本大震災被災地へ2,000個の柿を届ける「干し柿プロジェクト」をスタートさせ、地域の小学校と校区が協働して活動する基礎を作ってこられた。また、青少年の登山や川遊びなど多くの自然体験活動を推進し、他校区への体験活動指導、平成28～29年には市のふれあい講座「トレッキング講座」の講師を務めるなどして、市及び地域の社会教育活動を率先して推進されてきた。

平成29年からは校区の人たちが水浴びや魚釣りで慣れ親しんだ滝への道の整備に取り組み、「霧降りの滝」という校区の名所として復活され、校区文化祭では滝までのウォーキングを楽しむ催しを行われた。伊佐市の社会教育及び校区コミュニティ活動の活性化に大きく貢献された。

3番でございます。

中間 明美さん73歳、田中校区コミュニティ協議会の推薦でございます。

長年にわたり校区コミュニティ協議会会長を務められ、役員としても校区の行事のほか、様々な活動に従事されている。20年以上続く「ウォークイン田中」や、一大イベントである文化祭「田中フェスタ」、夏祭り、敬老会などの活動に携わり、校区を盛り上げてこられた。

平成21年度からは校区防犯パトロール隊の一員として、登下校時の児童の見守りや校区内パトロールを行い、平成29年度からはスクールガードとしても、地域の児童の安全を守り、校区全体が自主的に安心安全なまちづくりを行う活動を展開してこられた。また、平成29年度からは校区の老人会長として、伊佐市老人クラブ連合会スポーツ大会への参加や小学校のタオル寄付など、積極的に取り組み、校区活動の活性化に貢献されている。

4番目でございます。

久保 通子さん77歳、伊佐市更生保護女性会からの推薦でございます。

平成19年に大口市更生保護女性会に入会し、これまで声かけ運動を中心とした青少年健全育成や子育て支援のボランティア活動に積極的に取り組んでこられた。

中でも、年間30回ほど開催される「ミニ集会」では、託児をはじめとし、頼れる人が近くにいないため困っている母親たちの話し相手として、子育てについての悩み相談を受けたり、助言をしたりするなどの支援をしてこられた。また、郷土料理教室では、簡単に作れるお正月料理などを若い母親たちに指導するなど、多面的に子育て支援につながる活動をされてきた。

さらに、犯罪や非行のない明るい社会を実現するために、毎月13日の伊佐さわやかあいさつ運動に積極的に参加するなど、母親的立場から子どもたちへの声かけを行い、地域の青少年健全育成にも、大きく貢献されている。

5番目でございます。

小山 五十三さん77歳、伊佐市立湯之尾小学校からの推薦でございます。

平成21年から湯之尾小学校の特色ある教育活動の1つである俳句活動の充実に向けて、児童の俳句づくりの指導はもちろんのこと、職員研修においても講師として教職員への指導を行われている。ご指導いただいたことにより、川辺青の俳句コンクールにおいて平成24年から3年連続で学校賞を受賞した。その他、全国児童生徒俳句コンクールや黄金の俳句コンクール等においても、多くの児童が入賞している。

また、令和元年度からは、朝の読み聞かせボランティアにも参加し、児童への読み聞かせを行うなど、教育活動の充実大きく貢献されている。

以上でございます。

(教育長)

はい。今、5名の方が表彰選考会のなかで承認されたということで、本日、定例教育委員会の中で決定していただくということでございますが、1人ずついきたいと思っております。

まず、1番の長山 ミエ子さん、内容については、先ほど総務課長が読まれましたけれども、この方について皆様方のご意見をお伺いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

(全員)

いいと思います。

(教育長)

よろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

はい。では、長山 ミエ子さんの受賞を決定したいと思います。

2番、前原 博文さんについては、どうでしょうか。

(永野委員)

この方は、いいですか。

(教育長)

はい。どうぞ。

(永野委員)

規定では、概ね10年以上活動ということで、選考会をされているから問題はなかったと思いますが、25年ということは、8年ぐらいしか経っておりませんが、それはよかったですか。

(教育長)

それは、概ねということでございます。

中身の活動自体は、非常に濃いものがあるということでもあります。

(永野委員)

確かにそのとおりですね。

(教育長)

羽月西校区が、非常に元気になっているということでもあります。

(永野委員)

はい。いいと思います。

(教育長)

よろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

はい。では、前原さんも決定ということですよ。

次に、3番、中間 明美さんですが、いかがでしょうか。

(永野委員)

いいと思います。

(教育長)

よろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

はい。中間さんも決定しました。

次に、4番、久保 通子さん、いかがでしょうか。

(永野委員)

はい。いいと思います。

(教育長)

若い母親の支援というのは、あまりいらっしゃらないのですが、いかがでしょうか。

(全員)

はい。いいと思います。

(教育長)

それでは、久保 通子さん決定ということでもあります。

最後に、5番、小山 五十三さん、湯之尾小学校からの推薦ですが、いかがでしょうか。

(永野委員)

いいと思います。

(教育長)

いいですか。

(全員)

はい。いいと思います。

(長野則夫委員)

ちょっといいですか。

(教育長)

はい。どうぞ。

(長野則夫委員)

小山さんについては、俳句だけが取り上げられていますが、私が小学校、中学校でPTA会長をしているときに、「緑門づくり」とか、それから、「鬼火焚き」とか、そういうのにも色々尽力されていきましたので、非常にいい方だと思います。

私も推薦します。

(教育長)

地元の方が、推薦されるということで、小山さんも決定ということですよ。

その他、この方はどうでしょうかというのではないのでしょうか。

選考会のなかでは、特にあがってはいませんでした。来年度は考慮して欲しいという方がいらっしやれば、来年度考えていきたいと思っておりますがどうでしょうか。

(永野委員)

よろしいですか。

(教育長)

どうぞ。

(永野委員)

以前、校区のコミュニティ協議会の会長さんたちには、1年でも皆さん推薦されて全部出されていましたが、会長さんをされたら1年でもということでの前の社会教育課長さんが言われていました。今度を出ていないのですね。だから、それがずっと継続していかないといけませんよね。そのときは、校区コミュニティの会長をされた方は、皆さん推薦されたんですよ。1年でも推薦するのかという話をしたときに、やはり校区でなかなかまとめる人がいないなかで、会長をされた方は、社会教育課としては全部推薦に値するというので、全部推薦しますということでした。その辺は、徹底されていないのかなと思いました。そのときは、かなり推薦者が出ました。辞められたときは、皆さん推薦対象者になっていましたから、推薦者がいなくても自動的に社会教育課として推薦するという話だったなと思って、今回もその中では、代わられた方が推薦になっていないので、どうなっているのかなと感じました。

(轟木課長)

後で、内容を精査します。

(教育長)

市の企画政策課の方で、市政に貢献した方は表彰されているということはあります。

また、考えていかなければならないと思います。

(永野委員)

市のレベルだから、できればどんどん推薦をして、高齢者になってから推薦するのではなくて、若いうちに早くもらって、そして、県とかで表彰という形になっていけばいいのになと思います。そういう意味で、校区コミュニティ協議会の会長1年、2年、あるいは1期でも辞められた方は、推薦対象になるんだという説明を以前受けました。それは、いいことだなと思ったんですけどね。

(教育長)

今後、検討させてください。

はい。ありがとうございました。

では、議案第23号「令和2年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者の決定について」は、全員が賛成と判断いたしました。

よろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(教育長)

次に、委員から提出された動議等の討論等に入ります。

前もって提出された動議はございません。何かございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(教育長)

はい。特にないようですので、以上で討論等を終わります。

その他の件に入りますが、その他、皆様方から何かないでしょうか。

(永野委員)

いいですか。

(教育長)

はい。どうぞ。

(永野委員)

先だって、県市町村教育委員会連絡協議会研修会が中止ということで資料をもらいましたが、そのなかで、我々が知っている部分と、知らない部分があると感じたものですから質問します。

業務改善アクションプランの中で、部活動に関する勤務状況の改善についてというのがありまして、部活動の方針の策定状況把握ということで、市町村教育委員会が策定することになっている設置する学校に係る部活動の方針についての助言等を行うということで、この方針について、伊佐市においても策定されていると思いますが、この定例教育委員会の中でも、スクールバスの運行であるとか、部活動に関することとか、単発的にはありましたが、こういう方針として教育委員会が策定したものについて、今まで定例教育委員会の協議の中ではなかったもので、頭の中で整理ができておりませんでした。こういうのがありましたら、一度、分かる範囲で今後、定例会で教えてください。

(教育長)

はい。わかりました。

では、次の定例会の協議事項を見ながら、今策定している部活動の方針について、学校教育課長の方で資料等を準備させますので、よろしく願いいたします。

(永野委員)

伊佐市の場合は、スクールバス運行が旧大口南中学校、旧山野中学校ということで、定例会で協議しましたよね。変則的な部活動をどうするのかということをごすね。単発的には、協議をしましたが、教育委員会としての方針を今後、教えてください。お願いします。

(教育長)

はい。その他、ございませんでしょうか。

特にないようですので、事務局の方で何かありますか。

(轟木課長)

先ほど、万膳総務課長からお話がありましたとおり、例年行われてきました市青少年健全育成大会及び伊佐さわやかあいさつ運動推進大会の中止を決定しているところでありますが、そのなかで、社会教育関係功労者、それから、あいさつ標語、黄金の俳句の表彰式を合わせて実施しておりました。今年に限ってコロナウイルスの感染対策ということで、行事の中止の代わりに表彰式だけを10月17日に実施する予定であります。そのなかで、内容については、後日送付させていただきたいと思っておりますが、本日は、あいさつ標語の選考を定例会終了後にお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(教育長)

はい。今年は、表彰式のみということでありますが、定例会終了後に、あいさつ標語の選考をお願い

したいと思しますので、よろしく願いいたします。

その他にないでしょうか。

では、特にないようですので、これもちまして、令和2年第9回定例教育委員会を閉会いたします。  
(浅山係長)

姿勢を正して下さい。一同礼。